

# 西根

## にぎりたての「おいしい寿司食いねえ」



にぎりたての寿司を味わう通所者の皆さん

マックスバリュ西根店の職員は1月22日、小規模通所授産施設ポパイの家を訪れ、寿司の実演試食会を開きました。この試食会は、にぎりたての寿司を、施設の通所者に味わってもらおうと行われ、今年で4回目。通所者たちは、寿司職人が手際よくにぎる技に驚きながら、おいしそうに寿司をほお張りしました。通所者たちは寿司のお礼に全員で「贈る言葉」を演奏し、感謝の気持ちを伝えました。

## 西根地区婦人会演芸会で今年の初笑い

笑顔の絶えない楽しい一年にしようと、西根地区婦人会演芸会は1月14日、西根地区市民センターで開かれました。演芸会には、歌や踊りを楽しもうと、会員など約250人が参加。西根地区の各支部婦人会が、趣向を凝らした31演目を発表しました。ステージでは、出演者たちが、この日のために練習してきた自慢の芸を若々しく披露。集まった会員たちから、盛んな拍手が送られました。



趣向を凝らした衣装と踊りで楽しませる出演者たち

## 寺田スノーバスターズ発足し活動開始

地域で助け合いながら、高齢者などに冬を安心して過ごしてもらおうと、西根寺田地区の地域振興協議会は1月21日、寺田スノーバスターズを発足しました。出発式は寺田公民館で行われ、隊員など約50人が参加。小野寺昭一会長が「力を合わせ温かい心で頑張ろう」と激励し、地元企業の三研ソイル㈱から隊員にスノーダンプとス

コップが贈られました。この日は、同地区の西根老人憩の家などを訪問。凍った雪などを割りながら、手際よく除雪しました。同スノーバスターズは6班編成で、毎月第1、3日曜日に統一して活動。民生委員の調査により、自力で雪かきが難しい同地区の一人暮らしの高齢者や、障害者の55戸をパトロールし、雪かきをします。

今年結成した寺田スノーバスターズは、中学生から大人まで77人が登録。西根第一中学校の生徒たちもボランティア活動に張り切っています

# 八幡平市

## 生涯学習推進大会「学びのひろば」開催

八幡平市生涯学習推進大会「学びのひろば」は1月21日、西根地区市民センターで行われました。

この大会は、多くの人が生涯学習活動に親しみ、実践してもらおうと、体験学習や記念講演、作品展示などを実施しているものです。

体験学習では、女性に人気のネイルケア、ハワイアンダンス教室を開催。けん玉などの昔あそび教室も行われ、世



実践発表として、ミュージカル「フランダースの犬」を披露する出演者



体験学習のハワイアンダンスは女性に人気

代間の交流も深めました。ステージでは、滝沢村のNPO法人「劇団ゆう」の指導の下、ミュージカル教室を受講した市内の子どもたちが「フランダースの犬」を発表。生き生きとした表情と演技で、会場を盛り上げました。記念講演では、落語家で教育評論家の桂文喬さんが「笑う門には福来る」と題して講演し、訪れた300人を楽しませました。生涯学習推進大会は、防衛施設周辺整備協会の助成金を受けて実施しています。

## 市が子育て支援「たからっこ広場」開設



「たからっこ広場」について詳しくは、市児童福祉課まで

子育て中の親子が、子育て経験豊富なお年寄りと交流を深めながら育児相談をする「たからっこ広場」は1月17日、大更公民館に開設しました。この広場は市が開設し、月、水、金曜日の午前10時から午後3時まで無料開放。事前の利用申し込みは不要で、時間内は自由に利用できます。子育てアドバイザーとボランティアが常駐し、母親同士の情報交換や就学前児の友達づくりの場として期待されます。

## わしの尾で蔵人の技と心に酔いしれる

市内の企業が情報交換をしながら連携を深めようと、八幡平市企業懇談会は1月19日、大更の酒造会社・株わしの尾で行われました。懇談会には、市内の企業や市から約40人が出席。岩手山ろくの清らかな水を使い、文政12(1829)年創業のわしの尾の酒造りを見学しました。参加者たちは、甘い香りがする蔵の中で、妥協のない生産工程と、約180年続く職人たちの技に酔いしれました。



米、麹、水、酵母などで作られた「酒母」を試飲する参加者



# 安代

## 温かい地域の「まごころ」が雪を解かす



安全な活動を心掛けようと気を引き締める隊員たち

安代地区の高齢者などの家の周りを除雪する安代地区スノーバスターズは1月7日、安代福祉センターで出発式を行い、今シーズンの活動を開始しました。

当日は、安代中学校の生徒など23人の隊員が参加。暖冬の影響で雪が少ないため、今回は除雪対象の家庭を訪問し、あいさつ運動を行いました。

隊員には約130人が登録し、除雪対象となる22戸を毎週日曜日に訪問します。

## 安代中出身の弁護士・藤田さんが講演

安代小学校と安代中学校のPTAなどが主催する新春教育講演会は1月19日、安代中学校で開かれました。

講演会には、同校出身の弁護士・藤田城治さんを講師に招いて開催。昼の部は生徒を対象に「夢に向かってチャレンジし続ける」、夜の部は父母などを対象に「我が子を守る」と題して講演が行われました。

藤田さんは講演で「自分の可能性を自分で狭めないこと」と後輩を激励しました。



講演会で後輩たちを激励する藤田城治さん(写真奥)

## 願いを込めた3色団子でミズキを彩る

ミズキ団子と昔あそびを通して世代間の交流を深めようと荒屋公民館は1月18日、交流会を行いました。

交流会には、同公民館の農園で野菜作りなどをしながら活動する地元の子どもたちや、お年寄りなど約30人が参加。

きねとうすでもちをついた後、赤、緑、白の団子3色で、ミズキの木を色鮮やかに飾り付けました。

ミズキの枝には「家族が健康でありますように」「今年も農園で野菜がたくさん収穫できますように」などと、願いを込めた短冊も結び付けました。

昼食は、つきたてのもちを使ったお雑煮です。参加者は、お年寄りたちの子ども時代の話で盛り上がり、お雑煮で体を温めました。午後には、紙飛行機や竹とんぼなどで昔あそびを楽しみました。

家族の健康や五穀豊穰(ごこくほうじょう)を祈りながら、ミズキの枝を3色の団子で色鮮やかに飾る参加者たち

# 松尾

## 五穀豊穰を祈る松尾寄木地区の裸参り



女性や子どもを含む24人が松尾地区公民館新田分館を出発しました

松尾寄木地区に伝わる小正月の伝統行事「寄木天照皇大神宮」の裸参りは1月16日、同地区で開かれました。

女性や子どもを含む24人が白装束を身にまとい、ほら貝の音を先頭に松尾地区公民館新田分館を出発。はさみと呼ばれるさおを手に、鈴を鳴らしながら家内安全や無病息災を祈願しました。一行は、大



はさみと呼ばれるさおを手に練り歩く参加者

神宮までの約1.5kmの道のりをゆつくりと練り歩き、沿道や大神宮では地域の人たちが温かく出迎えました。

今年は暖冬の影響で穏やかな天気。参加者たちは「こんな冬は初めて。暖かいので冬を過ごすのは楽だけど、冷害になるのではと心配」と、五穀豊穰を一層願いました。

寄木裸参りは江戸時代中期に、岩手山の噴火を恐れた人々が、山の神を鎮めるために始めたと伝えられています。

保存会では、伝統を継承しようと、南寄木、新田、北寄木の松尾地区公民館3分館を持ち回りで出発点にしています。

## 沖縄の太陽を浴びて友情の翼を広げる



少年の翼に参加した皆さん(撮影:糸満市・岩手の塔)

市内の小中学生と高校生が沖縄を訪問し異文化交流を深める「少年の翼」は、1月9日から12日まで友好都市の名護市などで行われました。

旧松尾村から続くこの交流会は、今回初めて西根、安代からも参加。25人の一行は、常夏の島で、地元の子どもたちと温かい友情をばくくみました。

交流会では、北国と南国の文化を互いに紹介。戦地となった沖縄の歴史をたどりながら、平和な社会を願いました。

## 松尾地区地域振興協議会が発足し活動

松尾地区地域振興協議会の設立総会は昨年12月25日、松尾総合支所で行われました。

松尾地区が設立し、市内全域で地域振興協議会が出そろい12団体となりました。

同協議会は、松尾地区全域をエリアに各自自治会の会員で構成。地域住民の意見集約や地域課題の解決、まちづくり事業を進めます。会長には、時森自治会長の杣沢徳宣さん、副会長に向村自治会長の米田定男さんを互選しました。



松尾地区全域を対象に地域振興協議会を立ち上げました